

報告事項 エ

令和7年度学校給食における県内産食材の使用状況及び取組について

令和7年度学校給食における県内産食材の使用状況及び取組について、別紙のとおり報告します。

令和8年7月7日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

令和7年度学校給食における県内産食材の使用状況及び取組について

令和8年7月7日
体育保健課

学校給食における令和7年度の県内産食材の使用状況等を取りまとめましたので、報告します。

1 令和7年度地場産物の使用状況

(1) 学校給食用食材の生産地別使用状況調査（県調査）の結果

令和6年度まで年間通じての44品目（重量ベース）で実施してきたが、鳥取県食育推進計画（第4次）及び鳥取県教育振興基本計画の指標（金額ベース）に合わせ、令和7年度から金額ベースによる調査に変更して実施。

<調査概要>

調査方法：小学校（小学部）の中学年に提供した給食を対象とし、一食当たりの地場産物食材が占める金額の割合（※全ての品目（一部調味料を除く））

調査期間：毎月（※8月、3月を除く）第3週の5日間

	R7
地場産物（県産品）	75.78%
国産食材	96.46%

○有機農産物の活用（9市町）

鳥取市、米子市、境港市、八頭町、南部町、伯耆町、大山町、日南町、日野町
（米、大根、じゃがいも、さつまいも、にんじん、ほうれんそう、白ねぎ等）

○ジビエの活用（5町）

若桜町、智頭町、北栄町、大山町、江府町

(2) 学校給食における地場産物・国産食材使用状況調査（国調査）の結果

国の食育推進基本計画の目標に掲げられている数値であり、抽出した7市町（単独調理場又は共同調理場の7場（校）抽出）の調査結果によるもの。（金額ベース）

	R7	R6	鳥取県食育推進計画（第4次） （R6～R11）
地場産物（県産品）	79.7% （全国3位/平均57.2%）	72.5%	80%以上
国産食材	98.4% （全国1位/平均90.0%）	95.5%	

(3) 地場産物及び国産食材の使用割合が向上した理由

- ・野菜等について、令和6年度は天候の影響から地場産物の使用量が減少したが、令和7年度は生産・納入等の調整がついたと考えられる。
- ・令和7年度は米価の高騰が著しく、多数の市町村が地元産米を使用しており、米をはじめ県産の食材価格の上昇率が高かったことが考えられる。

2 主な取組について

身近な地域の産業や食文化への理解を深め、郷土を大切にする心を育むよう、県内産食材を活用した食に関する指導の充実を図っている。

- (1) 学校給食関係者、関係機関を対象とした県産品利用（地産地消）推進会議の開催（年1回）
- (2) 栄養教諭等を対象とした地場産物を活用した学校給食調理講習会の開催（年1回）
- (3) 県農林水産部と連携した星空舞を学校給食に活用する「星空舞週間」の実施（一部の市町は通年星空舞を提供）
- (4) 食育の日（毎月19日）、食育月間、とっとり県民の日、全国学校給食週間等の取組を通じ、県内産食材を活用した学校給食の提供と、献立を活用した食に関する指導を推進

【市町村】令和7年度 学校給食用食材の生産地別使用状況調査(金額ベース)【全期】

「砂糖及び甘味類」「油脂類」「菓子類」「嗜好飲料類」「調味料及び香辛料類」を除く全ての食材の使用実態を使用金額の割合でまとめたものである。

区 分	地場産物合計 割合(%)	国産合計 割合(%)
鳥取市	71.46%	96.61%
米子市	81.75%	96.11%
倉吉市	78.37%	98.38%
境港市	58.83%	98.87%
岩美町	83.32%	96.15%
八頭町	71.15%	98.12%
若桜町	79.79%	99.23%
智頭町	71.87%	96.15%
湯梨浜町	85.25%	97.64%
三朝町	75.77%	97.51%
北栄町	81.82%	92.46%
琴浦町	78.67%	93.71%
南部町	77.47%	96.06%
伯耆町	78.38%	93.72%
日吉津村	67.42%	96.21%
大山町	87.41%	99.38%
日南町	67.11%	93.99%
日野町	75.79%	96.57%
江府町	68.20%	95.95%
市町村平均	75.78%	96.46%

地場産物使用比率	75.78%
国内産使用比率	96.46%

※個々のデータを四捨五入で入力しているため、合計が100%にならない場合や合計値に若干誤差が生じる場合があります。